

1. 科目名(単位数)	データベース演習I (2単位)	3. 科目番号	EDIT3313
2. 授業担当教員	阿部都乃比吾不力		
4. 授業形態	演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	科目「コンピュータサイエンスI」を履修済みであることが望ましい。		
7. 講義概要	本科目では、リレーショナルデータベースに関する基礎知識を、演習を通して考える。データベース、データモデルなどの概念を理解するとともに、データベースの効率的な検索技法を身につけることを目標とする。また、関係データベースを利用するための言語である、SQL言語の基礎を解説し、SQL言語を用いた基礎的な演習を行う。		
8. 学習目標	現在、主流であるリレーショナルデータベースの仕組みについて学ぶだけでなく、データベース管理システムの歴史と、それらの管理システムを可能にしたハードウェアの仕組み、数学の概念、ソフトウェアの基本も学ぶことを目標とする。		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	単元終了ごとにテキストの演習問題を課題とする。		
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 中山清喬(著), 飯田理恵子(著), 株式会社フレアリンク(著)『スッキリわかるSQL入門 第4版 トリル 256問付き!(スッキリわかる入門シリーズ)』出版社: インプレス <b>【参考書】</b> 講義の中配布されたプリントを参照し、用語を理解する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 ①リレーショナルデータベースの仕組み、②データベース管理システムをそれらの管理システムを可能にしたハードウェアの仕組み、③データベースに必要な数学の概念、④データベースの設計ツール、上記4点について学ぶことはできたか? ○評定の方法 1. 授業ごとに提出されるレポート、小テスト、課題提出状況など70% 2. 授業への積極的参加と受講態度30%		
12. 受講生へのメッセージ	事前学習を怠らないこと。やむを得ず欠席した場合は各自で補完すること。データベース演習IIへの基礎となるため確実な理解を。		
13. オフィスアワー			
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	はじめに	事前学習	はじめを先に読んでまとめる。
		事後学習	配布されたプリントを参照し、自宅でも設定できる。
第2回	SQLで学ぶにあつて	事前学習	第0章を先に読んでまとめる。
		事後学習	配布されたプリントを参照し、自宅でも設定できる。
第3回	データベースとは	事前学習	データベースの概念をまとめる。
		事後学習	第1章を先に読んでまとめる。
第4回	第1章のまとめ	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第5回	SQLの基本ルール(2.1~2.3)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第6回	SQL文の実行1(2.4~2.6)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第7回	SQL文の実行2(2.7~2.9)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第8回	操作する行の絞り込み1(3.1~3.3)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第9回	操作する行の絞り込み2(3.3~3.6)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第10回	検索結果の加工1(4.1~4.3)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第11回	検索結果の加工2(4.4~4.6)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第12回	式と関数1(5.1~5.4)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第13回	式と関数2(5.5~5.8)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第14回	集計とグループ化1(6.1~6.3)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第15回	集計とグループ化2(6.4~6.6)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。

事後学習

練習問題を自宅で復習をする。